新拾遺和歌集

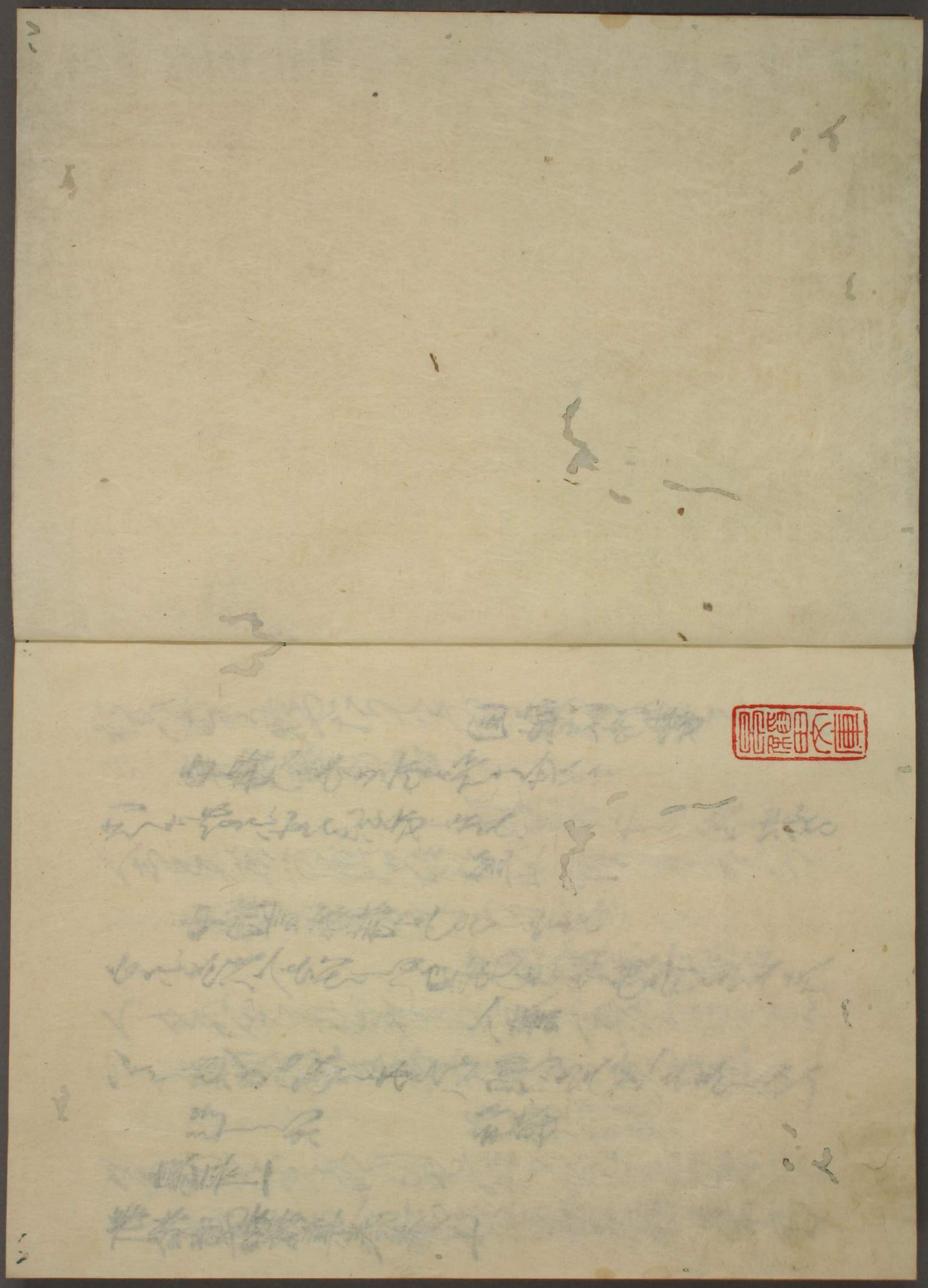
下

特別
へ4
8099
19(2)

LC

N4
8099
19
(2)

< 2001-042 >



新拾遺和歌集巻第十一

戀歌一

[illegible]　仲麻呂

いとゝあはじとのみ思ふ人の心のうらみ

[illegible]　人麿

[illegible]白雪のきえてもはかなき我身哉

中納言家持

[illegible]

[illegible]　笠女郎

[illegible]

中務卿[illegible]

[illegible]　岡融法師

[illegible]

[illegible]

寄燈戀

[illegible]　邦世親王

[illegible]

貞和百首[illegible]

[illegible]　中園入道前太政大臣

[illegible]

道助法親王家百首[illegible]

[illegible]　後三條行幸

[illegible]

光明峯寺入道前摂政家百首[illegible]

[illegible]

従二位家隆

[illegible]

殿富門院大納

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大義の傳博

[illegible]

遠人しらず

[illegible]

遊於十三年亭子院御宴

[illegible]

躬恒

[illegible]

[illegible]

桂中納言實直母

[illegible]

延喜元年百首歌奉時

前大納言内侍

山川の瀬にうちをきうつもれぬ神の御ゆ

平常躬

神のおもう瀬にうつもれて[illegible]

達智院法橋

恋恋の心を

[illegible]

九條前内大臣家百首歌合

左衛門院小宰相

[illegible]

恋人慰

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建仁二年新任の合ゝ恵憲

前大僧正慈鎮

[illegible]

[illegible]

皇太后宮大夫俊成

[illegible]

西園寺内大臣

[illegible]

光明峯寺入道前摂政家の合ゝ恵憲

正三位知家

[illegible]

文保百首に新入えそまつりける時

従二位宣子

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前大納言為定

[illegible]

平英時

[illegible]

前参議為嗣

[illegible]

法印覚昭

[illegible]

寛治二年百首三河守雨憲

後西園寺入道前太政大臣

[illegible]

百首歌奉てまつる　宰相杜憲

権大納言義詮

[illegible]

入道二品親王性助　家平前三河守

法眼源兼

[illegible]

文永七年閏九月内裏三首　宰相菊之憲

大蔵卿隆博

[illegible]

[illegible]

右衛門督教定

[illegible]

雜物とい[illegible]　花園院御製

いとをもて[illegible]

恵通書院　入道二品親王号園

[illegible]

たゝめて[illegible]

参主補釈

[illegible]

深養父

[illegible]

文保百首歌

忠房親王

[illegible]

平行氏

[illegible]

権律師則祐

[illegible]

大納言師賢

[illegible]

等持院贈左大臣

[illegible]

二品法親王覚助家平尚亦小恵恵

藤原基任

かくれの恵さ[illegible]

弘安百首哥たけの村

常盤井入道前太政大臣（後嵯峨ノ子 実氏ト云）

恵とそ[illegible]

寛治二年百首哥たけの村雨

山階入道前左大臣

あ[illegible]

寄雲恵と[illegible]

いつ[illegible]

恵哥[illegible]

為道朝臣

碁子内親王

せ[illegible]

藤原長秀

法眼行經

恵遇恵

中宮大夫宗朋

源光時

平重基

建長元年六月廿六日小寺山惣

前大納言為氏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後西園寺入道前太政大臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

入道二品親王道助

[illegible]

貞和二年百廿六日

民部卿為明

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神代より始てこの富士の神を崇やつりて山を守る人

ひとりの桂の葉のつきてやもりてやむのき廣山をもちる人

桂中納言定家

あひ思ふの妹をなかもんむとて葉ふみ分て葉の

長歌の元良親王

葉ふたみつへき物を神代つたつたつたつたつたつ

白雪の合

白雪の深積て折てさしの花りこの間け

文保百首の内

桂中納言雄

うたふ所の名をさしつかなれ

百首歌たまきはるいきの宇桂意

桂大納言義詮

今こそ心かきそらひ

文保百首の内

ひつのつもの神の葉のうち桂

うきこのひとりあてひつのつもの神の葉のうち桂

前大納言為定

葉の葉意

頃と風こそ葉たちの佛

法三位為信

せあてこそうたふつこそ

前右兵衛督結城教

なくあとのうの葉の葉の

祝部成量

兼久二年五月門院崩御之時三位長隆卿

前中納言定家

建保五年内裏歌合之夜歌

後久我大臣

八條院高倉

文保三年百首歌

正三位隆教

嵯峨院御門院御

逢坂関

前大納言為氏

新拾遺和歌集巻第十二

戀歌二

光明峯寺入道前摂政家百首歌合

大納言為家

逢ことの葉もなきなかの月の夜の思ひ出ばかりなる袖

文保三年百首歌合

前摂政前内大臣

あふ事をかぎりしらぬ涙にもまくらの下の人ぞ恨む

寛治二年百首歌

八條院高倉

消ぬとてなほあふことの夢ぢにもつらき神の思ひ

藤原隆親朝臣

いとゞまた思ふ心のなかるべきものを思ひの数ぞ

百首歌合

前斎院

玉簾の数ならぬ身の消ぬべきもとゞまるかぎりなる

貫之の家の歌合

よしの

あふことのなくて白雪の消ぬとなれば思ひ

十月ばかりの女のもとへまかりそめて男の

伯宣卿

赤染衛門

新拾遺撰集の時の歌

[illegible]

寧楽京

前大納言良教

[illegible]

百首哥中より

式子内親王

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

延徳十三年辛酉[illegible]

[illegible]

[illegible]

前大納言為定

いろこそあれ春の色のうつさばやかぜの袖に

百首歌中に

激安門院一条

あきかぜにうつろふ野べの花のいろをいかにとかはん

前参議為秀女

ふるさとの春の夕べの月ばかりなれぬるかげぞ

春ぞ来ぬ宮ぎのかぜのかをるきんをかぎりに

梅の花ぞうつりぬる

賀茂成助

大宰大貳高遠

屏風に

春ぞ来ぬ梅の花ぞうつりぬる

いろ色にいとはるかぜを

ひつるかな

基俊

いかにして花の下紐とけぬらん

光明峯寺入道前摂政太政大臣

百首歌合に

春の

さくらばなとけぬらんかぜの

後鳥羽院民部卿典侍

かりそめのふしをしたれば

春の夕べの月ぞ

藤原定家

[illegible]

源盛云

[illegible]

行乗法師

[illegible]

八條入道内大臣

[illegible]

三善為連

[illegible]

仮意祈願

[illegible]

和大納云為定

[illegible]

百首歌[illegible]寄杜恋

[illegible]

同日和歌大臣

[illegible]

正和五年九月十日後醍醐院[illegible]

[illegible]

[illegible]

法三位行平

[illegible]

法三位為理

[illegible]

中納言為藤

[illegible]

人をしのびもんとうの行ふ也なるべ
いとをうまれ　藤原時相
あふまのうらにひろふ貝をもこれ源氏まつかぜん
　　前大納言為兼
海人のうみあけらそれ奏おく志ほひ志ほ
　　故原為清
あまたの藻すそぬれあ袖ら秋ら志ほ
　　前大納言為世
鶴ら海ら志ほ
　　前大納言為世
　　書蓮井入道前大臣
ふつ

[illegible]胸あひて[illegible]

伏見法印義

中納言医房の家[illegible]合[illegible]

[illegible]

源[illegible]

[illegible]

慈[illegible]

[illegible]

賀方朝臣

[illegible]

小[illegible]将

[illegible]

源頼康

[illegible]

関白[illegible]事

権大納言義[illegible]

[illegible]

法印良憲

[illegible]

前大納言為兼

[illegible]

元亨三年八月大[illegible]

[illegible]

前中納言隆長

[illegible]

慈[illegible]事

前大納言[illegible]

世をけく我さへ法もむつかしく侍るに侍るに
慈雲法師　善源法師
むつかしあるに世をもかてやうに侍の人きにつきたる人
都元百日之間寺にて不逢恋
あまきにたなさしに侍の恋てたるもかりに侍ふ
俊恵法師　前大納言實教
逢ものとたのん命をかなきにいかに侍の人
二月法親王性助家平前に
恋ものたちの世をそもいかにつきたる人きに
前大納言為氏

二月法親王覚助家平前に不逢恋
藤原基任
法師ものとに我をもみたんあまきに人の如に侍の義
慈雲法師
あひたんてに侍のつきをせめてに侍の人
金光法師　道祖者大臣
法印定慈
さもとけるにたのむ人をつきたる中乃恋侍る
宗恵法師
逢事かかにとそもに侍る人の如
三善信方
ことに侍のそうに侍に人ものとそもに侍

殿面門院大納
[illegible]
[illegible]
[illegible]

山本入道前大納言大臣

[illegible]

権大僧都信聴

資成[illegible]

[illegible]

前中納言通房

[illegible]

平忠度朝臣

[illegible]

法印村基

[illegible]

伴国清

[illegible]

小侍従

[illegible]

鷹司法師

[illegible]

源頼隆

[illegible]

源宗氣

[illegible]

百首のうちより　藤原雅冬朝臣

[illegible]

恋の心中に　鷹司院権宰相

[illegible]

後醍醐院御製

[illegible]

新拾遺和歌集巻第十三

恋歌三

百首の歌中に　土御門院御製

[illegible]

新大将

[illegible]

前大納言為家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

戀ふる中に

前大僧正道意

ひろきをとなのむつことの葉にはかりの人をあはれ

秋恋のこころを

後九條前内大臣

物思ふ桐の葉おちつる宮ゐの秋の夜ふかき

光明峯寺入道前関白太政大臣

恋

藤原信實朝臣

いろふかくもみぢしぬらんいにしへの秋の夜ふかき

夜戀を

惟宗光吉朝臣

歎きつゝあかしかねてはいにしへの夢にぞ見ゆる

源貞世

俺の世にいとゞひとりぬる夜の夢にぞ見ゆる

寄夜恋といふ事を

桂大納言長雅

ちぎりをかねやはたのしの夜の夢にぞ見ゆる

前元百首寄夜恋

後照会院内大臣

らしはきてとゝろかなしの夢にぞ見ゆる

恋ふる

大江廣秀

我ぬるを松やさしのの夢にぞ見ゆる

後法成寺入道前関白太政大臣

夢にぞ見ゆる

馬内侍

大井河にありきとて行てよみける

〈道二〉 釈主法守

夏ゝ来ぬ時

鳴ぬ山ほとゝぎす

なにかは

聞ぬ

敏安門院一条

ゆきかへる

春ゝ来ぬ

ものゝ

ふるさと

ゆきて

ゆく

春

恋紀忠

春来ぬ

ものゝ

ふるさと

ゆく

恋

恋

なに

ゆく

ものゝ

ふるさと

ゆく

恋

恋

賀茂雅久

なに

ゆく

ものゝ

ふるさと

ゆく

恋

恋

藤原為忠朝臣

なに

ゆく

ものゝ

ふるさと

ゆく

恋

恋

従三位藤子

なにはなる

ゆく

ものゝ

ふるさと

ゆく

恋

恋

大江忠幸

なにはなる

ゆく

ものゝ

ふるさと

ゆく

恋

恋

陸奥守藤原の仲実

なにはなる

ゆく

ものゝ

ふるさと

ゆく

恋

恋

陸奥平邦省釈主

なにはなる

ゆく

ものゝ

ふるさと

ゆく

恋

恋

従二位為子

なにはなる

ゆく

ものゝ

ふるさと

ゆく

恋

恋

摂津西園寺入道太政大臣

なにはなる

ゆく

ものゝ

ふるさと

ゆく

恋

恋

一所で行ひ申せし　俤のうら行なきあはれ世
文保三年百首歌奉りし時
津守國冬
俤ゆきうれしきまでは結ぶくなる浦風寒み
後醍醐院御歌
いつもうれ寒なりしたのもやかたかの川ゆ雪ぞ
待戀の心を
かくはうきうれしきまでは結ぶ
〈道歌主殿道
世のとしとりやきいつけく行きう
たのめうきうれしきまでは結ぶ
よ人
浄妙寺開日和尚
いたてあてあてのうれ新ら
世界に生て俤なりせいたなる
連夜待恋
源孝朝
たのやうの俤ゆ結ぶ
寒元百首歌奉時
はるて行人とて俤
中納言為藤
浄妙寺
法印浄年

[illegible]

中務卿宮尊親王

[illegible]

[illegible]

駿河三位為子

[illegible]

[illegible]

廉仁王

[illegible]

大納言隆博

[illegible]

如雄法師

[illegible]

権律師則祐

[illegible]

前中納言基成

[illegible]

弾正尹親王

[illegible]

前大納言忠季

[illegible]

花園院御製

[illegible]

前中納言為相

[illegible]

前大納言為世家十首歌[illegible]

頓阿法師

[illegible]

[illegible]

[illegible]

昭慶門院一條

[illegible]

[illegible]

法皇御製

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

左兵衛督基氏

[illegible]

大納言頼實母

[illegible]

是法師

源信武 氏イ

[illegible]

文保百首寄[illegible]

前中納言雅孝

[illegible]

源師光

高階重直

大蔵卿長綱

源光行

大中臣行房朝臣

[illegible]

菅家万葉集の

[illegible]

題義法師

[illegible]

法印隆尚

[illegible]

津守國夏

[illegible]

紀善法師

[illegible]

惟宗忠見

[illegible]

惟宗忠員

[illegible]

前内日左大臣近衛家わく寄鳥恋

[illegible]

惟宗信郎寛耀

[illegible]

[illegible]

[illegible]

百首哥[illegible]

[illegible]

[illegible]

和元百三十四年初遍憲
後宇多法皇御願
待遇恵といふ事を
賜法三位為子
西遍憲といふ事を
授与信都經賢
貞和二年百三十四年
民部卿為明

信濃国
信實朝臣
後二位宣子
民部卿為明卿より二条殿へ遍恵
頼宗法師
藤原基世女
永仁六年九月十五日

正三位隆教

源時秀

前大納言為家

従二位行忠

藤原冬長

正三位成国

右兵衛督基氏

従二位親王号同

前大納言義俊

恋の中より

[illegible]

藤原盛法

[illegible]

橋恋

[illegible]

前参議為秀

[illegible]

左京大夫[illegible]

[illegible]

藤原仲文

[illegible]

後朝恋

[illegible]

皇太后宮大夫俊成

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法印[illegible]

[illegible]

大江頼重

[illegible]

万秋門院

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法三位為俊

[illegible]

[illegible]

弘安元年百首歌奉けるとき

前大納言

[illegible]

[illegible]

朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

進子内親王

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

深守法親王

たのもしさたのうやうきゝあの世なるこん

花園院御製

あらゝ世のちりのよせちくあるかはかりの秋をたに

さそうものを

新拾遺和歌集巻第十二

戀歌四

皇太后宮大夫俊成

恋ゆゑ

うらはかりあはぬ事のいとかなしうあるこん

道二和歌王道助家卿家前右兵衛督

前中納言定家

たのもしきうちきりたのみあるこん

藤原雅経朝臣

ちはやふるかみのいかきをかけてこそ

花園院御製

うゝ井一筋の恋ゆゑ

寄義戀

大納言師賢

あふぎもてあをぎかねつるあきかぜの
むすぶの露のあかつきの夢

性慶法師

名所恋とゝの事を

前中納言資平

うたがはしどこをたのみの三輪の山
ゆふ絡ん義のしるしなる

後鳥羽院入道前太政大臣

寄山恋

中納言為藤

紅葉ばのちるとはなしに達坂の
山もとのみぞ時雨なりける

権中納言經定卿

あるとも悔りもせじ板の間ゆ
漏る月の光ばかり

人麿

中納言家持

こゝろ

板上大嬢

こゝろぐるしくもつきぬるかな
海人の藻刈の火の後にあらぬ

中納言家持

海人の藻刈の火の後にあらぬ
中納言為相

紅葉ばの色にあらはれぬ
ひとりのみ

三條右大臣殿

過不逢恋

平政村朝臣

康資王母

伊見院御製

馬内侍

大納言頼實母

津守国夏

前関白九条殿

皇太后宮院別当

[illegible]

前参議為秀

文保百首[illegible]

中宮大夫[illegible]宗毋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文保三年百廿三年[illegible]時

[illegible]

光明寺入道前摂政家憲十廿三年合戦

中納言定家

[illegible]

百廿三年[illegible]時[illegible]

第大僧正賢俊

[illegible]

人丸

[illegible]

長[illegible]

小町

[illegible]

紀の國[illegible]寺[illegible]

建長元年廿三年[illegible]

法二位行家

[illegible]

二条院讃岐

[illegible]

法下定為

[illegible]

百首歌たてまつりし時 寄板恋

中納言通方卿

たつたの森のひとへなるそでもかさねつるかな二重の板

忘れぬる中は

寄方朝臣

いつもかはらぬ橋の中柱ゆくすえまでもたのまれぬ

寄橋恋

源和義朝臣

出でし時ながめし中をかきの神のかげ形をかへず

源基幸

流れてはいかにしがらみ柱なるけのたるかからぬ義経橋

橋中納言實直母

袖のうら数あつまりて見つるあまの苫屋の月

前大納言為氏

百首歌たてまつりし時 寄海人恋

月前門院

さしはさむ海人の心を見しかなそでのうら柱なるあまの

忘れぬる中は

今出川院近衛

見しあきの秋のいとまもうらぶれぬ

夜笠前内大臣

見しあきの秋はまたれやうらぶれぬ

平親清女

いつかわすれぬ人をまちかねぬ

又夢の義にはかりはなしてせんかの事を行蓮法師

寄夢戀　　大納言行宗

あふとみる夢をもかなしさきにつきぬるかりの

枕にはなにをかたのむ　　源和氏

貞和二年七月十日洞院殿三首歌

はるかにはるかにはるかに遇不逢恋

風をまちかねてもかりの枕にはかりの夢の

覚ぬるかな　　藤原政光

いとかりの夢にたのまれぬる枕にはなにをかたのむ逢

恋二百三首

惟明親王

あふ事の夢にはかりの床の上にはかなき恋

百三首のうち　次小寄枕恋

沸製

ちぎりきりの暁をかさねつけし枕なれ

恋乃所

式部門院沸面

枕にとあるこの今はきてはかりやこの日を

遇不逢恋の心　　前大納言為氏

今はとて枕にきえてはかりさめぬ夢の

絶不過意

前大納言為世

いまはたゝ思ふ事なくさめ侍る事

長意

源高秀

たゝ思ふ方のしるべとなるべしと我なりけんものとさ

ふ

俗見法師三十首歌

永福門院内侍

はるのよの中の名残をしてとまるべきと

百首歌奉る

冬寄海恋

関白前左大臣

約束をたがへぬ人の海ならばなみ

藤原為重朝臣

ひとりわけ来る袖にひきかへて結ぶ夢ゆゑ

家百首

冬

前左大臣

なみ寄せぬ浦やいかなる海ならん

雪

源仲教

問はばやとあまの海人の海ならん

前参議定宗

かたもなく人の結ぶの海ならん

宗草恋

前参議定宗

浦風に吹きかへすなみの結ぶ

俗業兼

柱僧正果守

結ぶ夢ゆゑ

[illegible]家百首[illegible]逢不遇恋

正三位知家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文屋康秀

吹からに秋の草木のしをれぬれば
むべ山風を嵐といふらむ

僧正遍昭

天つ風雲の通ひ路吹とぢよ
をとめの姿しばしとどめむ

貫之

白雪のふりしく時は山里の
人も通はぬものとおもへば

式部卿宮合

玉藻刈る敏馬を過ぎぬ夢路にも
君が姿の見えつつ

光孝天皇

君がため春の野に出て若菜つむ
わが衣手に雪は降るかも

前中納言定家

いつかまた春の来ぬとか鶯の
ねぐらの梅の花ぞ咲くらん

業平朝臣

あきはぎ咲野の露をかぞへつつ
ぬれてとまらぬ人ぞ多き

前参議経宣

あきの来てあさにおもへばそのうらはあやぬ
ぬれぬ袖

源頼政

をしなべて花の盛りの山ざとは
風ふきうらの雲ぞ

前大納言為家

かぎりあれば花の盛りもあるものを
なぜ山ざとの雲ぞ

坂東為量朝臣

さ衣ぬれてもいとはぬ袖かな
松のしたぶし

昭覚法師

月見てもあはれ秋の色なれば
ながめぬ人ぞ

宗祇法師

あきはぎ露をかぞへつつ
ぬれてとまらぬ人ぞ多き

前参議経宣

あきの来てあさにおもへばそのうらはあやぬ
ぬれぬ袖

源頼政

をしなべて花の盛りの山ざとは
風ふきうらの雲ぞ

前大納言為家

かぎりあれば花の盛りもあるものを
なぜ山ざとの雲ぞ

坂東為量朝臣

さ衣ぬれてもいとはぬ袖かな
松のしたぶし

昭覚法師

月見てもあはれ秋の色なれば
ながめぬ人ぞ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

義なりてこれをもとめ奏するに一巻の中に下紐
付見侍り事なり三十巻歟

後西園寺入道前太政大臣

すきのあまのはらかなる衣にはあらねどそでのつゆにぬれぬる
元弘三年九月十三夜内裏小くらの御所にて
くらもりの御所にて被遂
てそのあけぬるにまうでこもりたる侍りしに
光明寺殿入道前摂政家参十首会事細
を細ひてあまたの神のまもりにあらぬ
世にしらぬ

正三位知家

只はしたかの
白波 喜白切 はしたか
はしたかの 鳥切 鷹似狩

たとかたにひとりのこりたるもうらやましけれ

鎮西大宰

かぜたえてなびくあしのうきねにはあまのたくなわ

源兼氏

いとりすつる夜ぶかの庵に神たのみやあるらん

安嘉門院宮藤

ちはやぶるかみのいせのはまゆふ中にかをるたちばな

左兵衛督基氏

歌あはせさきのあきのこのかみ

洞院摂政左大臣家百首歌に

前中納言定家

[illegible]

百[illegible]

次[illegible]

沸製

[illegible]

中国へ[illegible]

[illegible]

[illegible]

後堀河院民部卿

[illegible]

文保百[illegible]

前大納言[illegible]

[illegible]

[illegible]

後源[illegible]

[illegible]

文保百[illegible]

後醍醐院御時

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前中納言[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

等持院[illegible]

[illegible]

定暁法師

[illegible]

文永二年[illegible]月後醍醐院[illegible]三十首和歌

信実朝臣

恨恋

いとゝまふかの[illegible]

[illegible]山百首歌より

侍従為親

[illegible]

二条法親王寛尊

[illegible]

藤原長秀

[illegible]

前大納言[illegible]

[illegible]

前内大臣

[illegible]

正和五年九月十三夜後醍醐院[illegible]

[illegible]百首歌[illegible]月前恋

[illegible]

前大納言[illegible]

[illegible]

前大納言實前

すむ月の海ふかく新たなる松をへだてゝ大くのつきなりけり　前大納言内侍

みくまの松はるゝやうさくのまつの月をもすみけりとやうさくの

中納言内侍

人をうらみてもなほ月のいとをしきあはれをそへてとゝ

恋の心をよめる

恨ひてもあはれ海よりつゝ恨へ恋の心を

恨へ恋の心を

たゝの葉をもさはりせはしくもとはさまし

源頼大夫俊季

うらみてもなほ月のいとをしきあはれをそへてとゝ

今出河院近衛

貞和百首歌めしけるとき恋

法皇御製

さそもとあ屋にさまてはなをふうらみたりしをもおもかく

中園入道前太政大臣

ありてあるものひとさはとなくとあてかはなをなけきはか

恋の中心

前大納言公藤

かはしたゝかはなきたりくしてうらみなくあかひらあるへき

山階入道左大臣

数のあはのおもてをうらはなくさあてうれとうかあ雅経

源公信

かたらしと恋ふ者のそもわたりはそはやはの梅き

文永七年八月十五夜内裏百首歌　恋

前大納言為世
平親清女
源清忠中将
寄花恋
前大僧正禅助
源宗茂朝臣侍
俊頼朝臣
二条法親王覚助
中務宗尊親王家百首歌
藤原基隆
寄葛恋
平親清妹
道智法師
覚空上人

いかなる時雨なりとかきかくとも花の枝つたふなみだ

藤原忠兼

稀なる人の枝をかりそめに折りて花の盛りつたへ折りさす

白河の院の御時に百首の寄髪恋

前大納言為家

玉かづらいかなる神の光りつる黒髪のけぶりなるらん

百首歌奉りし時家恋

権大納言義詮

黒髪のみだれ乱るるもうかりしかけ井のなるらん

鷹司院帥

今はとてうもれぬそれぞ思ひ出もつきぬ恋ぞ

うめきこのとせさかりけるを

和泉式部

花のあるいかなる枝ぞ恨みんそなたの命なりけれ

人つてにうつる世の恨みすなりもすなりもいとは

源師光

恨みかねたのしかるべきなりけるを

恋ひ人の中に

恨みなんそれぞ恨みなりけるを

大宰帥中務卿

金仁親王

つれなくとなれば恨みなりけるを

後鏡殿院沙義

わきて[illegible]のもとに[illegible]なりて[illegible]たまの月日を
うつしのこす

新拾遺和歌集巻第十六

神祇部

さうもんの[illegible]をうけ[illegible]
山の[illegible]暦應三年三月[illegible]
滝寛[illegible]

海の[illegible]
静明法師[illegible]暦[illegible]
地[illegible]
寶[illegible]
[illegible]
法[illegible]暦[illegible]

の貴を仰て海恵を仰て律師を仰ぐ
かの海恵律師の歳は日本（中略）
を月をとりてふかき所をとれん
あまたの門徒をかなしてそれ人をあまた
あまたの奥国に法あれ仏法の世をとれん
ちかあまたの白つ本堂をたてる時
寺をたてるに杉の時三田山をとる也
竹をの小野をの寺をとれん
延暦六年日本紀竟宴奉思兼神
阿保親覧
思ひたりとも世をとれ天人をひけ

神祇官中に　従二位家隆
乃ち世をとれ　源兼氏朝臣
大神宮合
祇園の是ものあるかやそのの浪を秋の月
寄月神祇と
ふるりはさ者いを世をとれ　建知門院
祇園院御伝れ神ちの山の月新
あり山をふかりくるる
あまれと神の法をとれ　後鳥羽

[illegible]

大江宗秀

[illegible]

正三位成国

[illegible]

源知行

天地のひらけそめしはじめより

[illegible]

[illegible]

神祇官中臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

弘安元年百首歌のめしに応ず

飛鳥井雅有

石清水神人のまゐりてやはらぎ給ふ

梅窓仮顕朝

踏みなくいはの世にあらん和歌浦の玉ぐしはらをひとりの

惟宗光吉朝臣

いとゞみ神代の月やふるうらのさゝ波たゝぬ長き夜

貞和二年百首歌奉りける時

同日前左大臣

のどかなる春はうつの花ぞかをれる春風はなきまれとなる波のうち

元弘三年三月屏風の詩歌

後醍醐院御製

九重の梅かゝりてはるの雲たゝぬ色人

前中納言親光

三代の御代をうけて石清水すゑ久しかるべき

法印幸清

いとゞあらたなる世にあれとはるの世とて

賀茂遠久

万代ぞまれなるうるはしきはるの

賀茂経久

ちとせのうかれ人きゝ恵とそいはう春

法印深源

後世に万世を祈りまつるやうなるべきなり

従三位教久

あめつちの神のさかえ来るかぎりいつ世までもかはらぬ宝

宗門神祇　平行氏

ちはやぶる神のひさしき世なれども月の神さへ行かへるらん

等持院殿尊氏公

神祇　源和氏

いかるが神もうれしとやおもふらん春にあふてすめる恵を

祇園社　従三位氏久

民とおもふ神のかけみてうしに乗らうらん

神祇を　藤原長経

みきの松のもとにおかさかの神のうしをなでぬ

中将盛

春の松のもとにかさかの神のうしをなでぬ

貞和百首の時

前大納言経顕

おとたかの松のもとにかさかの神のうしをなでぬ

春日社まゐりて大将の事祈りてよめる

内大臣

三笠山さしかくしたる春の雪

三條入道前内大臣

かさかの家に春の来ぬるを

祝部成藤

[illegible]

法印成運

[illegible]

祝部行親

[illegible]

法印延命

[illegible]

祝部成豊

[illegible]

神紙[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原雅朝卿

[illegible]

[illegible]

僧正良瑜

[illegible]

祝部行氏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源直義

伊勢大神

右大納言隆季

右中納言定家

平政村朝臣

右大納言為家

右中納言為相

法印雲禪

津守國平

[illegible]

神楽を　小弁

[illegible]

中務

[illegible]

[illegible]

新拾遺和歌集巻第十七

釋教歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

傳教大師

[illegible]

[illegible]

花山院御製

[illegible]

人の功法ゆゑ和尚捧持つたまふ

大貳三位

清水きよしの社の姫宮

[illegible]

三東をひとりの人を知るまことの

慈覚大師

法花経序

清水納云

鼎の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

涌出不

清泉ひとつ庭中のさしにそそ白露のかすかに地ひさし

壽量品

いまこそ[illegible]なれ[illegible]

栗和賀直者則皆見我身

前大僧正良信

ふるさとの水に新たなる[illegible]

隨喜功德品 何況於法會

水上を[illegible]

清眼源兼

如来者得火

[illegible]

寂蓮法師

[illegible]

中納言為藤

[illegible]

前中納言定家

[illegible]

普賢經我心自宮罪福無主

寂然法師

[illegible]

小野宮右大臣千日の講をたゝし給て[illegible]

[illegible]

世尊[illegible]

延文二年七月[illegible]

[illegible]

〈道二和尚〉

文保[illegible]

二和尚

[illegible]

高階宗成朝臣

十如是[illegible]

前大納言宗明

静仁法親王

金剛經の是法平等無有高下の[illegible]

法花寓實

無量義經の[illegible]千餘年未顯真實の[illegible]

蘊隆法師

扇解脱風除世惱熱

法眼源忠

山うちはらふかぜにはるかすみたちぬるかたのあけぼの

世尊不說之說迦葉不問之問といふこころを

夢窓國師

ほとゝぎすなくこゑにこそすゝめいれ

天教禅師

かりぶしをとはぬこゝろのあるとこそ

左兵衛督直義

國風上人

きゝなれぬこゑのあたらしきにこそ

法師のかずにはなるつれなきこゑ

かけいるとしをとりてそとゝひてあるこゑ

赤染衛門

清水へまいる道にて

二月の月新王書を拾て

けいかう

〈道新王の道〉

をしなべてかゝるこゝろを照せとや

六根をやくるゝ人のこゝろ中に

前大僧正慈勝

さのみやこゝろ招ぎあるこゝろ

不偷盗戒を
[illegible]
中務の宗旨釈王
延暦寺戒壇の法師[illegible]
[illegible]
法印源全
法[illegible]
識實性唯識の心を
前僧正顕通 過ヶ
[illegible]
天[illegible]
後宇多院御製
梅花三世仏のなかにそ折つる神さへ人なとるめ也

一色一香無非中道　僧正慈鎮
[illegible]
善悪不二邪正一如の心を　前大僧正云澄
[illegible]
世間相常住の心を　素性法師
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

般舟讃一到孫陽安養國元来是我法王家乃仏

雙救上人

[illegible]

[illegible]

権僧正四仲

[illegible]

兼宣上人

[illegible]

谷間半座衆花葉待我圓落同行人

[illegible]

法華顕益

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仁明天皇御宴

[illegible]

権少僧都源信

[illegible]

[illegible]

[illegible]

弥勒と
前大僧正隆弁
[illegible]
お大僧正植守
天教寺住
[illegible]
十住心の中に覚心不生心のこころと
法下守通
[illegible]
法流の事 勅問によつて奏上の時のつけ句
前大僧正栄海
[illegible]
法界体性智の心を
[illegible]

[illegible]
沙羅林を
[illegible]
雪のく丈六の仏を作りたてまつる
[illegible]
禅沒羅密
[illegible]
[illegible]
[illegible]

義なりと云事なれども眠りひさしかりけり

山の常行堂の流通の鐘を聞つけ侍りける事

心海上人

本尊の山を出でんとの願を立てる夢を見て

菩提寺と奥深く侍りける事を

前大僧正良信

すゑ遠の法の法とあるべき夢を見て

慶政上人

地蔵菩薩と

迷ひ入りぬるやみの道の法を示すとの夢を見て

地蔵菩薩と

為道朝臣

夢あるべき法を聞きすてたる世を恨むと

天台座主院源

地獄の門を開くと夢に見て

土御門院の御

地獄の門を開くとの夢を見て

月輪殿を訪ひ参せ所ひて

後鳥羽院の御

雲間の月のさやかなるを見て

義稱院の極楽の門の開くとの夢を

ゆめさめぬるかの夢を見て

中夜

皇太后宮大夫俊成

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前権僧正慈房

[illegible]

前大僧正良覚

[illegible]

[illegible]

惟賢上人

[illegible]

前大僧正成恵

[illegible]

権僧正寛伊

[illegible]

前大僧正植豪

[illegible]

前大僧正植豪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

新拾遺和歌集巻第十八

雜部上

早春霞

後一條前関白左大臣

[illegible]

[illegible]

忠見

[illegible]

萬

後京極摂政太政大臣

[illegible]

[illegible]

民部少輔明

[illegible]

順徳院御製

[illegible]

野春雪と[illegible]

[illegible]

入道二品親王覚誉

[illegible]

源時秀

[illegible]

[illegible]

前大納言為世

[illegible]

中務卿宗尊親王家百首歌

曲水宴藤原親子

[illegible]

寄蓮法師

[illegible]

正三位成國

[illegible]

道助法親王家百首歌

参議雅經

[illegible]

法眼宗信

[illegible]

石清水宮合月前霞

正三位知家

らこ雲[illegible]

花園院御製

百[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

春山の[illegible]

百[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七年の春まてたくんしまつりの花をみるの
亭の後宴会に　藤原真風
年のまつの花のかをとめやちりのこるの雪の時
法印兼舞
ちりぬるをいとゝみまし山桜たゝかぬ人の家つとまん
二月法親王尊風
春風のはなをはらはは花ちりぬ
根ふかき花をとゝのへ春風の庭の雪
前大納言公藤
山里の花ちりかの春なりしかの色なるはなをいとゝ雪
藤原基名

弘安八年八月十五夜内裏仏前の月に対して花を翫ぶ
前大納言為兼
弁官の時たちまちに職をなして侍りしかの
ちりぬるをとゝのへ侍りし花の雪
春雪中
家の風をたゝしてこそ春の雪のはるかなるまて
八條入道内大臣
蓮華王院
いとゝ若葉のことあてに春雪の儀を表花雪あり
小倉宰

[illegible]

源和義朝卿

[illegible]有て義の事を[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法印定家

[illegible]

激安門院一条

[illegible]

前中納言定家

院御製

左近中将基氏母

[illegible]

後鳥羽院御製

[illegible]

二条院讃岐

津守国冬

[illegible]

藤原朝臣定頼

[illegible]

[illegible]

常盤井入道前太政大臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源学法印

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二条法親王道助家年号元亨に被奉

法二位家隆

[illegible]

秋元亨年

法印浄弁

[illegible]

平常顕

[illegible]

権中納言兼博家屏風元亨

[illegible]

貫之

[illegible]

秋元亨の中ゟ

源氏物語

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

道明法親王家五十首歌に暁鹿

従三位行俊

[illegible]月のあり明の月小鹿て鳴るる

[illegible]

花園院御製

きりぐすの[illegible]かすかに暁の[illegible]あり明の[illegible]

永仁元年八月十五夜後宮歌合に十首歌[illegible]

[illegible]

前大納言俊定

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源高[illegible]

[illegible]

前大納言為兼

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

嵐ふき散らす月たなびく山の端の雲ぞ吉野の
秋の夕べ　　摂津国基氏

秋ゆく新そこのぎ面影の宮ゐ川ゐ月の
月ぞ　　権中納言公豊

夕ひ雲をあらしも松さきにて散りて月の新たなる
山集義て元ひ　　民部卿為明

に深夜月を
いとゝ世ゆけと頼つゝ月を見ぬ
　　登蓮法師

　　前参議
　　民部卿為明

うたの月ゆく秋ぞ
貞和百首歌

等持院贈左大臣

　　激浪門院小宰相

中秋の月を
月を
　　道淵

秋ゆく夜ゆく山里の庭ゆく
百首歌
　　民部卿為明

月の秋ゆく白雲の
家の歌合
　　平定文

[illegible]

[illegible]

菅原孝標朝臣

[illegible]

七条右

高階重茂

大江匡衡

[illegible]

[illegible]

等持院贈左大臣

源宗氏

小侍従

前中納言定資

[illegible]

[illegible]

野月

雅成親王

[illegible]

前大納言頼経家

真

直昭法師

[illegible]

[illegible]

源頼遠

[illegible]

岡屋大臣家

海邊月

[illegible]

湖月の心を

[illegible]

後二條院御製

[illegible]

元弘三年八月十五夜

[illegible]

の年遠相月小月前霧

[illegible]

藤原為冬朝臣

[illegible]

貞和百首の内

[illegible]

[illegible]

等持院贈左大臣

[illegible]

藤原隆信朝臣

[illegible]

平高宗

[illegible]

[illegible]

永福門院

[illegible]

[illegible]

式子内親王

[illegible]

正三位季経

[illegible]

文保三年百首歌奉[illegible]時

中納言為藤

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二条法親王寛尊

[illegible]

花園院作

[illegible]

[illegible]

伏見院御製

[illegible]

花園院御製

[illegible]

紅葉

[illegible]

[illegible]

道二条親王覚誉

[illegible]

玄勝法師

[illegible]

建長六年九月十三夜五首歌合

[illegible]

太宰権帥為信

[illegible]

十首歌のうち時雨

後醍醐院御製

[illegible]

[illegible]

前参議實名

宝治八道前関白[illegible]

堀河右大臣

[illegible]

貫之

前大納言實教

後醍醐院の十首歌

前大納言實教

[illegible]

前大納言為世

[illegible]

寛治二年百首歌

冷泉前大臣

[illegible]

禅信法師

[illegible]

藤原俊成卿

[illegible]

前大納言經孫

[illegible]

殿舎門院大納

[illegible]

前内大臣

[illegible]

桂中納言兼輔家屏風ニ

貫之

[illegible]

高市黒人

[illegible]

平時常

[illegible]

文保百首歌ニ時

後西園寺入道前太政大臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大江忠房

[illegible]

〈道二不親王覚誉〉

[illegible]

冬月前大僧正

寄持院賜左大臣

雲のうへにかすみそめぬる小篠うらさやけき九月の月

冬暁

院御製

冬深しきりにかすみそめぬる霜の明方

前大納言経継

飛鳥井雅親卿

冬月

冬の月新宮の戸にたかく松の風

二条法親王覚助家平冬暁月

中納言為藤

冬月

雲のいかの思ひのうらかぜかすめる

宗久法師

百首歌時雨

内大臣

さえさゆる山の嵐にうもれぬる谷川の水

藤原長秀

霜

ふる雨の滝川なれて山下風やはらぎぬらん

宗切法師

冬月

冬の月雲けぬ月小夜ふけて佐野の渡の川の水音

百首歌

沢水鳥

桜宮俊賢継

冬夜

ふけぬるかたいもとゆめ

前大納言公藤

冬月

冬の月明のうら波の沖の白雪

河千島と　　検中納云云雄

山科のことゝ共の海のさゝ波の　　春の日の

百ゝ言ゝ　　千島

人なれぬ　　二条法親王奉風

ものかなと　　白雲の　　松の梢を　　友とうれ

人ゝ言ゝ　　信性法師

見ぬ海　　正三位通藤女

月の海　　後醍醐院女房代

鄙の海　　月ゝ　　海風

みちのくの　　左兵衛督基氏

百ゝ言ゝ　　千島

けふ　　検大納云義満

春の　　春の日の

七ゝ　　千島

世ゝ　　春の海常盤

俤　　延政門院新大納言

[illegible]

細代約束とり事を

道因法師

[illegible]

源氏頼

鷹狩とてあり

[illegible]

冬の部

源孝氏

[illegible]

[illegible]

桂律師則祐

[illegible]

前参議教有

[illegible]

源頼隆

[illegible]

初宮初等持院殿時

義定国師

[illegible]

冬部の中

源宗氏

[illegible]

後醍醐院女房人氏

[illegible]

惟賢上人

さそはるゝうら出くみ見ゆ身の雨をうけうせて月を待

藤原盛徳

雲ゐなる月をまくれ山の端のなりもひさしにつゝまれて雲

百首歌たてまつりし時雨

前内大臣左大臣 従三位

雲ゐなるかすき山の落葉くるゝにつゝまれて雲

花系為重朝臣

風越の峯の山きりはれて木葉のみさゝれる雲

前参議

いとゝ物の哀をそゝくせゝいとゝ雲ひあり雲の去る雲

大納言雅信卿

かせのうゝ雲のうゝ日かゝそつ

たゝ物のとて書つけ侍りし

加賀左衛門

新勅撰つゝりさう雲のうゝ月出やきゝんとすん

也

前参議つゝ雲のうゝて清のたゝ三尺ばかりみ

百首歌たてまつりし時

前大納言忠季

雲ゐ物ゝ月のうゝ小野の山風

藤原為家

歌合にいとゝ物哀なる夕の大原山

嘉元三年三十首

等持院贈太政

雲ゐて月をみる夜の大原山

夜ゝ物哀なる夜ゝ

[illegible] 後伏見院御製

[illegible] 後伏見院御製

[illegible] 野宮左大臣

[illegible]

新拾遺和歌集巻第十九

雜部中

百首歌めされし時曉鶯

御製

[illegible]

後醍醐院御製

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前大納言為世

[illegible]

源氏經朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二条法親王覚助

[illegible]

前中納言定家

[illegible]

信明朝臣

[illegible]

前大僧正孝覚

[illegible]

法三位行平

[illegible]

三十首歌よみて出侍りける

[illegible]

花園院御製

[illegible]

百首歌めされし時

御製

[illegible]

保延元年内裏に歌合し海上遠望

[illegible]

権僧正仏通

[illegible]

平兼時朝臣

[illegible]

嘉元百首歌合時

法印定為

[illegible]

法皇御製

[illegible]

嘉元百首歌合

亀山法皇御製

[illegible]

前大僧正道昭

[illegible]

[illegible]

前大納言實教

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

田子浦の浪のとけ口神とうたうたふ給ふ

讀人しらず

文保三年百首歌たてまつりける時

前大納言為世

さらかつる和哥浦浪立そへて三つ巴をうつ

善源法師

松をしぬたつの浦風吹ぬ夜は月をうつ

貞和百首歌めされける時

中宮大夫宗冬

かつらはなれ哥の山のさくらはあらしの神のまき

後鶴岡八幡宮

貞和百首歌たてまつりける時

中園入道太政大臣

ひろすゑ海の舟ぬしは年のうちに名をうつ

後村上院

大井川みなかみ山にたぎつ瀬の音をうつ

前内大臣

交鶴ちとせ経て高山の松をうつ

前内大臣

世中にいとなつて高砂のみつ小瀬の雨をうつ

亭子院御製

代だなの関の荒海のいそぶきに名をながす
あまてる宿かくしなん

平兼盛

石間ゆ流る泉をむすぶとて
ちとせの齢かくしなん

紀国法師

都へ行あるかたをとめて
大覚寺の滝殿の石も国法へ行なく
成ぬと聞て見ぶ海の
かりと鶴ゆ行かたをとめて

西行法師

いはなかりしかとも滝殿の行末に昔なりし
世の名をとめて
かつて文治元年三月十日
仏会の
法印定円

世をもさらぬ海の月すみ
もすそ
説話成人

きえぬるこの滝殿の名ぞ
武士
武士

里人の名をとめ
世代なけ
三源頼政

[illegible]

百首[illegible]庭作　右大臣

家[illegible]代[illegible]

竹[illegible]　正三位有範

長竹の[illegible]　前中納言為相

[illegible]

[illegible]　正二位家隆

なり[illegible]

[illegible]　前大納言為家

[illegible]

[illegible]　従二位為氏

[illegible]

[illegible]　従二位[illegible]

[illegible]　前大納言為家

[illegible]

[illegible]　従二位

康安三年三月古今集の家説をもとめ書せ
侍りける所をもて樓意後実継の義を書付
侍る　民部少輔
業房卿より意見をもとめられ侍りける間あけて
侍　樓意後実継
和歌海の中の中の中に井をあけうるたること
續古今竟宴の
敷海の中の中に井をあけうるたること　法二位行家
弘安元年百首の内の中にみけつ玉をあらはす
前大納言為氏

第二の代にかたりつたへ重ねいはつたへあつむるやうと意歟
貞和百首の時　等持院贈左大臣
侍りしかの家にもとめられ侍りしかとも人をもとめられさ
月前の恋　中納言為藤
三箇度に名をあらはす　樓意後実継
弘安百首の内の時　樓意後実継の月新
前大納言為氏
めぐりあひ雲の月かくれ出てつゝ姿をあらん
法二位藤原の八月の歌に付侍りける
おなじ日左大臣　道書

[illegible]

藤原高範

貞和百首歌中月

前中納言雅孝

八條入道内大臣

後中院前大臣

[illegible]

家百首歌中月

陣正平親清朝臣

前大納言為氏

月前の中

[illegible]

恵慶法師

[illegible]

藤原為顕

[illegible]

寧楽述懐　　源成賢朝臣

[illegible]

竹林院入道左大臣沽製

[illegible]

書[illegible]

清原[illegible]書

[illegible]

文和二年十月大寿命尊慈紀方の[illegible]

[illegible]　　浪二位行忠

[illegible]

人の[illegible]

[illegible]

大納言経信

[illegible]

屏風の絵[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右近大将道綱家[illegible]

[illegible]

[illegible]　　[illegible]慈應

[illegible]

道命法師

[illegible]

貞和二年百首歌奉行時

中園入道前太政大臣

[illegible]

山家の[illegible]

前僧正實伊

[illegible]

述懐歌

平貞秀

[illegible]

百首歌奉行時

中園入道前太政大臣

[illegible]

山[illegible]

戒仙法師

[illegible]

[illegible]

前律師永欽

[illegible]

惟宗行冬

[illegible]

前僧正慈性

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

只誠法師

[illegible]

山家ノ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源頼仲

[illegible]

[illegible]

藤原門院女房

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

田家姫　　僧正桓覚

[illegible]

百[illegible]

[illegible]

二条法親王尊厚

大納言殿実母

世[illegible]

八十[illegible]

是法師

[illegible]

前大僧正頼仲

[illegible]

[illegible]

大納言良[illegible]

[illegible]

大僧正忠性

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法師長舞

[illegible]

老後述懐[illegible]

[illegible]と世をおもふ神のまもりにて[illegible]

障正平親首歌五

[illegible]

覚宣上人

かぎりなきやみの世をてらす法の[illegible]

法印經源

浪の風成たりけるあはれ[illegible]

藤原成茂

[illegible]

源光正

述懐哥ふ

[illegible]

宗祐法師

[illegible]方をたちかへりなけきたのん

法三位實遠

なんと世のうきをしらぬ[illegible]

河水

あすの河の浪の[illegible]

一條大政大臣

[illegible]

三善直信

かぎりなきうれしさの[illegible]

貞和百首歌時

[illegible]

〈道二不歌五法守

[illegible]

寄橋述懐

藤原宗遠

[illegible]

[illegible]

[illegible]

永福門院内侍

[illegible]

源直氏

[illegible]

藤原雅朝朝臣

[illegible]

[illegible]

真観法師

[illegible]

法印宗尋

[illegible]

惟宗忠景

[illegible]

清原通定

[illegible]

平政村朝臣

[illegible]

乙寛法師

[illegible]

信生法師

[illegible]

[illegible]

[illegible]

賀茂基久

大江高廣

普活法師

前参議兼良

懐円房

法三位宣子

同（真）上人

法師源意

源義基

道昌法師

平英時

平守時朝臣女

貞和百首歌の時

入道二品親王法守

なかれかたらさけかたらん世のもしにかなしき

[illegible]

新拾遺和歌集巻第二十

雑歌下

短歌

[illegible]

赤人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いく千人　長月の末　くらして　月の影まち
杉山の　ふかい山を　ふくやあらしの
久安百首哥合　左京大夫顕輔　長月
うき世をば　世のうきもの　なるまゝに　いつまでかこの
捨つるかな　なるまゝに　ひとりぬる山
ふるの山　ひとりぬる山　ひとりぬる山
分入れば　うきもの　ひとりぬる山
かりそめの　ひとりぬる山　あはれなる
きゝなれぬ　ひとりぬる山　ふかくなる
なりそめて　ひとりぬる山　ふかくなる
ふかくなる　ひとりぬる山　ふかくなる
なりそめて　ひとりぬる山　ふかくなる
なりそめて　ひとりぬる山　ふかくなる

おもひかね　うき世をば　ひとりぬる山
海ちかく　しきかねて　おもひかね　あまの川
さとちかく　宮もあれて　ありあけの　月のさ
なりぬる山

反哥

ぬれぬれて　ひとりぬる山　ふかくなる
旋頭歌

述懐の心を　家筆前内大臣

たちかへて　世をいとふ身　かたくなに　ひとりぬる山
ちりぬるなりけり　ぬれぬれて

信實朝臣

すみ深の神のみやまとなれ内ゆたてたる四季
色なるふれを

[illegible]　源有長朝臣

さとりあるこの世とかりの浦海にはてて
きゆる波のうへの雲

祈旬

藤原仲實朝臣

春の花つけて　後頼朝臣

うゝもとはたそや庵のたゝ[illegible]

藤原仲實朝臣

[illegible]

前大僧正慈鎮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さて此度の家を立てまして御座敷の
物名
但馬国にて此家を建て給ふ
貫之
あやかりにの言葉の
かるや
物の数を
さてひらを
前中納言定家
神にて成るべき柳葉の
ひらをあらはすけ
ひらをあらはす
右近中将具氏
ひらをあらはす
ひらをあらはす
ひらをあらはす

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

清浦弼臣

[illegible]

光俊卿臣

[illegible]

従二位行家

入道二品親王性助家[illegible]

後西園寺入道太政大臣

[illegible]

[illegible]

顔を

[illegible]

正三位知家

暁鶏を聞く

[illegible]

[illegible]

柳陰風を[illegible]

西行法師

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前大納言為家

文保三年百首歌奉けるとき

権中納言公雄

大井河[illegible]